

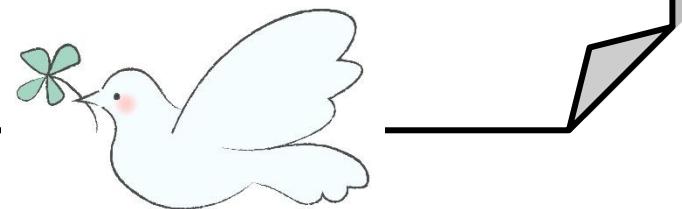
「平和をあなたに」 <先週の講壇より>

「いと高きところでは、神に栄光があるように、
地の上では、み心にかなう人々に平和があるように」 ルカ2:14 【口語訳】

第一次世界大戦、1914年の冬。ドイツ、フランス、イギリスの軍隊は、お互いに100メートルという間近に迫りつつ、塹壕(ざんごう)戦を続けていました。ふと気が付くと、もうクリスマスイヴ。すると何と驚いたことに、ドイツ部隊にキラキラ光るツリーが現れ、「きよしこの夜」が聞こえてくるではありませんか!? 言葉は違えど讃美歌のメロディは万国共通、100メートル先のイギリス軍からも英語の「きよしこの夜」が。こうしてフランス軍も、そしてすべての国の兵士たちが塹壕を出て中間地帯に集まり、クリスマスの挨拶を交わし、そこには笑顔があふれ出し、クリスマス当日の25日まで一時停戦となったということです。

主イエス・キリストがあなたに与えるもの、それは恐れを取り除く、明日を生き抜く力です。あの兵士たちの恐れを取り除いた平和は、今日もあなたの心のうちに注がれるのです。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《主の祈り》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦し給え。我らを試みに会わせず、惡より救い出し給え。國と力と榮とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《使徒信条》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我是その独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖靈によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより來たりて生ける者と死にたる者とを審き給わん。我は聖靈を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英國で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2025年12月28日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org
4872 Bishop St, Cypress, CA 90630
Facebook: オレンジ郡キリスト教会
ホームページ: www.occc.org



[教会年間聖句]

「あなたがたは世の光です。」

マタイ5:14

☆集会案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:30

聖書クラス : 10:45-11:45

現在第四または第五週

第一と第三は祈り会／初心者クラス

